



平成16年(2004年)
10/1
第1056号

発行：小平市
編集：企画財政部
広報広聴課
〒187-8701
小平市小川町二丁目
1333番地
☎042(341)
1211(代表)

市報 こだいら



◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.tokyo.jp ◇こだいらテレホンガイド ☎042(342)1222

第29回

小平市民まつり



合い言葉は“元気”



市民まつり会場内のごみステーションは廃止となりました。

来場の皆さんは、ごみの持ち帰りにご協力ください。

10月17日(日)あかしあ通りで

ふるさと小平の秋を華やかに彩る、恒例の小平市民まつりは、小平市民まつり実行委員会が主催し、小平市と小平市民憲章推進協議会が後援して、多数の団体の協賛・協力により、10月17日(日)にあかしあ通りを舞台として盛大に繰り広げられます。

わたしたちのふるさとづくりを目指し、18万市民が心をひとつに、交流と触れ合いの輪を広げる市民参加の楽しい催しです。家族で仲間を、みんなそろって秋の一日を満喫してください。

〈詳しくは、5・6面をご覧ください〉



◆一年を振り返って
今年小平市が誕生して42年目を迎えます。人口も18万人を超え、社会資本の蓄積とともに、公共サービスも近年の充実を遂げてまいりました。

市全体が「生活しやすいまち」を目標に、民間セクターと公共部門が共に協力して事業を実施してきました。

市民の皆様のご協力、市議会における市民本位の運営に心から敬意を表します。

◆第三次長期総合計画
ところで、市の第二期目の長期総合計画は、来年度平成17年度をもって終了します。現在、平成18(2006)年度から15年間を期間とする第三次長期総合計画を策定中です。

今後の15年間に、時代背景はどのように変わるのでしょうか。IT産業の目覚ましい発展、食糧自給率の低下、好不況の地球規模での拡散の危険性、先進国の出生率の低下と開発途上国の人口増加、地球資源の枯渇と環境悪化などの中に、その背景の変化を促す要因があるように思います。

そうした地球規模の話題が、わが小平市へどのような影響を及ぼすのか、予測はかなり難しいところではございますが、時代の変化とともに公共の役割は確実に変化してまいります。

民族的課題である少子化の進行は、経済成長率低下をもたらします。また人口の高齢化は医療費や年金の収支のバランス

市制施行記念日を迎えて

小平市長 前田 雅尚



を危うくします。人口問題については、短・中期的対策と超長期的対策や、国家レベル、地域レベルの対策が望まれます。

なければなりません。市民の皆様からも、ご意見やご提案を多数お寄せくださいますようお願いいたします。

◆市政の質的变化
少子高齢化・人口の減少傾向が明らかになった現代は、拡大経済から縮小経済への転換を予想しておかなければならない時期であるように思います。長期的に見て拡大する豊かさを体験しつつある我々が、経験したことのない縮小の中の豊かさを想定し実現するため、今、どのような心の準備をしておかなければならないのでしょうか。

さらに情報通信の飛躍的展開に伴う社会の変化や、青少年の健全育成にどう対処していくか、そして年功序列・終身雇用の特徴付けられた労働慣行の行方など大いに考え

なければなりません。市民の皆様からも、ご意見やご提案を多数お寄せくださいますようお願いいたします。

◆市政の質的变化
少子高齢化・人口の減少傾向が明らかになった現代は、拡大経済から縮小経済への転換を予想しておかなければならない時期であるように思います。長期的に見て拡大する豊かさを体験しつつある我々が、経験したことのない縮小の中の豊かさを想定し実現するため、今、どのような心の準備をしておかなければならないのでしょうか。

さるべきです。市民の皆様が一堂に会して楽しいお祭りになることを期待しております。

実行委員会のご努力に感謝申し上げます。また、市民の皆様が一堂に会して楽しいお祭りになることを期待しております。